

# 『高等学校国語総合 現代文編』(国総305)についてのシラバス案

科目 国語総合	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『高等学校国語総合 現代文編』(三省堂)

## 2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

## 3 学習計画及び評価方法など

### (1) 学習計画など

学期	学習のねらい 〔「学習指導要領」の指導事項〕	配当時間 月	言語活動	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲		
1 学期	・紹介される事例を通じて、筆者が述べようとする、「見る」ためには約束手帳が必要であり、ありのままの世界は見えないということについて読み取る。  (指導事項Cア・オ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)・ウ(7))	1	4	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 〔Cの(2)イ〕	「ありのままの世界は見えない」 田中真知	関心・意欲・態度	「世界」の「見え方」の違いについて、事例を通じて考えようとする。	私たちの見ている世界が「関心」に限定されたものであることについて考えを深めようとしている。	行動の観察	第1学期中間考查
						読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。	引用された事例から、筆者の考えを理解している。	記述の分析	
						知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身に付けている。	記述の点検	
	・論旨を正確に追いつきながら、筆者の言う文化の相違を読み取る。  (指導事項Cエ・イ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)・ウ(7))	2	4	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 〔Cの(2)イ〕	「水の東西」 山崎正和	関心・意欲・態度	文化の違いについて、日本と西洋の水の比較から考えようとする。	日本と西洋の水の比較から、文化の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察	
						読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	鹿おどしと噴水の違いに着目して、日本人と西洋人の水に対する考え方を理解している。	記述の分析	
						知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身に付けている。	記述の点検	
	・「聞き手」の立場に立った、わかりやすく話すための工夫を施しながら、自分の考えや価値観を紹介する。また、「聞き手」は対話に発展するような「なぜ」の質問をする。  (指導事項Aア・イ/言語活動ア/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ))	3	4	状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。 〔Aの(2)ア〕	スピーチをする 一対話型スピーチ	関心・意欲・態度	「わかりやすい話し方」のポイントを押さえ、その手順に従って自分のことを話そうとする。	「わかりやすい話し方」のポイントを押さえ、その手順に従って自分のことを話そうとしている。	行動の観察	
						話す・聞く能力	目的や場に応じて、効果的に話す。	目的や場に応じて、効果的に話している。	行動の観察	
						知識・理解	話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成する。	話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察	

<p>・「下人」及び「老婆」のそれぞれの視点を明らかにしながら、〈語り手〉が構成する羅生門という闇の空間の意味を考えていく。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動ア/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	4	4 5	<p>文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。 〔Cの(2)ア〕</p>	<p>「羅生門」 芥川龍之介</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、人間の生き方について自分なりの意見をもつ。</p>	<p>下人の置かれている状況、老婆の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えをもととしていく。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。</p>	<p>比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>主な常用漢字について使い方を理解する。</p>	<p>主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「わたし」と「くま」との関係性を明らかにしながら、「神様」という題名に込められた意味について考える。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	2	5	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 〔Cの(2)エ〕</p>	<p>「神様」 川上弘美</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>物語の設定を理解し、登場人物の交流のあり方に関心を示す。</p>	<p>「わたし」と「くま」との出会い、その後の交流を通じて、両者の印象の変化について理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。</p>	<p>比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。</p>	<p>文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・ブッククラブを通じて、「話し合い」のために必要な手順と目標を理解する。</p> <p>(指導事項Aウ・エ/言語活動ウ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ))</p>	4	5	<p>反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話し合いや討論などを行うこと。 〔Aの(2)ウ〕</p>	<p>話し合いをする ーブッククラブ</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>話し合うこと目標を理解し、その目標に向かうための合意形成を積極的に行おうとする。</p>	<p>話し合うこと目標を理解し、その目標に向かうための合意形成を積極的に行おうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>話す・聞く能力</p>	<p>話し合いの流れの中における自分の発言が果たす役割を認識する。</p>	<p>話し合いの流れの中における自分の発言が果たす役割を認識している。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>他者の発言を受けた上で、自己の発言を重ねていく。</p>	<p>他者の発言を受けた上で、自己の発言を重ねていくことができる。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・インターネットがその利便性の背後で生み出した深刻な問題を考察する。</p> <p>(指導事項Cイ・エ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	2	6	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 〔Cの(2)エ〕</p>	<p>「ネットが崩す公私の境」 黒崎政男</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>電子メディアのもたらした新たな状況について問題意識を持つ。</p>	<p>「誰もが著者になる時代」の困難について理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。</p>	<p>従来のメディアとインターネットメディアの違いに着目して、「自己」と「世界」のあり方の変容を理解している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「ことば」の「虚構性」や「恣意性」について、さまざまな具体例による説明を的確に理解し、まとめる。</p> <p>(指導事項Cイ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	2	6	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 〔Cの(2)イ〕</p>	<p>「ものとことば」 鈴木孝夫</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>「ことば」が本質的に持つ「虚構性」について問題意識を持つ。</p>	<p>「ことば」は「人間に特有な観点」によってもたらされたものであることを理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。</p>	<p>引用された事例から、筆者の考えを理解している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。</p>	<p>読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「ヒトとクマとの共生」を図るために必要な「自然再生」について理解し、整理する。</p> <p>(指導事項Cイ・エ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	1	6	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 〔Cの(2)イ〕</p>	<p>「クマの棲める森」 鷺谷いづみ</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>野生動物をめぐる「保護」と「排除」の矛盾について整理しようとする。</p>	<p>人と野生動物の「共生」に立ちほだかる問題について理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>筆者の体験と考えを踏まえ、「森の再生」が「魂の再生」へとつながっていく論旨を読み取る。</p>	<p>論理の展開から、筆者の考えを理解している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>

第1学期期末考査

<p>・統計資料の読み方を学習し、それに対する自分の考えをわかりやすく書く。</p> <p>(指導事項Cオ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(1))</p>	1	6	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。</p> <p>[Cの(2)イ]</p>	<p>情報を読む一統計資料の読み方・扱い方</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>さまざまなメディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。</p>	<p>図書館やコンピューターを利用した情報の収集ができ、その情報が伝えようとする内容を理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察・記述の確認</p>
					<p>読む能力</p>	<p>アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて、自分の意見を文章にまとめることができる。</p>	<p>グラフや表から読み取った内容を数値で示して、自分の考えを述べることができる。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表の分析方法を理解する。</p>	<p>グラフや表から特徴的な傾向をつかむことができる。</p>	<p>記述の確認</p>
<p>・途上国への支援において「何がいちばん必要なのか？」と繰り返し自問する筆者の思考をたどり、国際貢献における大切なことを自分の考えとしてまとめる。</p> <p>(指導事項Bイ・エ/言語活動イ)</p>	3	7	<p>出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。</p> <p>[Bの(2)イ]</p>	<p>「子ブタと未来」 中村安希</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>相手の立場で考えることの重要性について理解を示し、それを自分の言葉でまとめようとする。</p>	<p>筆者の体験に基づいて、国際貢献で求められることについて理解を示そうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>書く能力</p>	<p>筆者の体験を追認しながら、自己の主張を展開する。</p>	<p>筆者の体験を追認しながら、自己の主張を展開することができる。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「生命」は「動的な平衡」であるという筆者の主張を踏まえ、「操作的な介入」を行うことの危険性について具体化し、自分の考えとしてまとめる。</p> <p>(指導事項Bイ・エ/言語活動イ)</p>	3	7	<p>出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。</p> <p>[Bの(2)イ]</p>	<p>「生物と無生物の間」 福岡伸一</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>危ういバランスの上に成り立つ生命のありようについて、筆者の体験に基づいてまとめようとする。</p>	<p>筆者の体験に基づいて、生命と向き合う上で求められることについて理解を示そうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>書く能力</p>	<p>身の回りの事象の中からテーマに関連した事柄について調べ、論じる。</p>	<p>客観性や信頼性の高い資料を示しながら論じることができる。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・日常生活の中で出会うありふれた光景や体験を新鮮な感覚で捉えなおし、そこに広がる意味を随筆としてまとめる。</p> <p>(指導事項Bア・ウ/言語活動ア/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(1))</p>	3	7	<p>情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくりたり随筆などを書いたりすること。</p> <p>[Bの(2)ア]</p>	<p>随筆を書く――一枚の写真から</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。</p>	<p>書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>書く能力</p>	<p>事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明する。</p>	<p>事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。</p>	<p>正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	<p>記述の点検</p>

【課題・提出物等】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成したスピーチ原稿、ブックガイド、新聞投書
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

学 期	学習のねらい 〔「学習指導要領」の指導事項〕	配 当 時 間	月	言語活動	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲		
第2学期	<p>・繰り返し朗読することにより、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(1))</p>	2	9	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「蝨のうへ」 三好達治 「死なない蝸」 萩原朔太郎 「サフラン」 新川和江 「崖」 石垣りん</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。</p>	<p>繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>	第2学期中間考査	
						<p>読む能力</p>	<p>描かれている情景を把握し、作者の思いを読みとる。</p>	<p>一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしようとしている。</p>			<p>記述の確認</p>
						<p>知識・理解</p>	<p>詩の表現形式や修辞を理解する。</p>	<p>詩の表現形式や修辞について、理解している。</p>			<p>記述の確認</p>

<p>・近代から現代の代表的作者の手になる二十一首の歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(4))</p>	1	9	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「その子二十一首」 短歌二十一首</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>短歌を読み味わう態度を身につける。</p>	<p>理解したそれぞれの短歌の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。</p>	<p>行動の観察・記述の確認</p>
					<p>読む能力</p>	<p>それぞれの短歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。</p>	<p>それぞれの短歌について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>短歌についての基礎的な知識を身につける。</p>	<p>韻律や句切れなどの、短歌の基礎的な構造を理解している。</p>	<p>行動の観察・発言の分析</p>
<p>・伝統的短詩型文学である俳句の本質を理解し、俳句の表現方法についても学んでいく。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(4))</p>	1	10	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「いくたびも」 俳句二十一首</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>俳句を読み味わう態度を身につける。</p>	<p>理解したそれぞれの俳句の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。</p>	<p>行動の観察・記述の確認</p>
					<p>読む能力</p>	<p>それぞれの俳句について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。</p>	<p>それぞれの俳句について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>俳句についての基礎的な知識を身につける。</p>	<p>季語や切れ字など、俳句の基礎的な式目について理解している。</p>	<p>行動の観察・発言の分析</p>
<p>・小説の舞台となっている昭和二十年という時代状況を理解し、「私」の「少年工」に対する思いの変化を理解する。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動例エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(4)・ウ(7))</p>	2	10	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「灰色の月」 志賀直哉</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、「私」の抱いた気持ちについて考えようとする。</p>	<p>少年工の置かれている状況、「私」の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持とうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。</p>	<p>会話表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につける。</p>	<p>作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につけている。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・娘との会話をきっかけにしながら語られる回想を通じて、「私」が「戦争の話を書きつけている理由」について考える。</p> <p>(指導事項Cウ・ア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(4)・ウ(7))</p>	2	10	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「待ち伏せ」 ティム・オブライエン 村上春樹訳</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、「私」が戦争が終わった今でも抱き続けている気持ちについて考えようとする。</p>	<p>かつて「私」が置かれていた状況とそこで起きた出来事を理解し、自分の考えを持とうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。</p>	<p>複数の時制が展開する語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につける。</p>	<p>作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につけている。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・手紙の形式について理解を深め、知識を身につける。また、理解や知識を活用して、実際に手紙を書く。</p> <p>(指導事項Bア・ウ/言語活動ウ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(4))</p>	3	10	<p>相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。</p> <p>[Bの(2)ウ]</p>	<p>手紙を書く一依頼の手紙</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶようとする。</p>	<p>書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>書く能力</p>	<p>文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書く。</p>	<p>文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方できている。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>主な常用漢字を文脈に応じて正しく書く。</p>	<p>主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「余暇」の歴史的な分析と、人間の自由との関わりについて、筆者の主張を論理立てて理解する。</p> <p>(指導事項Cエ・イ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(7)(4)・ウ(7))</p>	3	11	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。</p> <p>[Cの(2)イ]</p>	<p>「余暇について」 内山節</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>筆者が述べる「余暇」の内容について理解を深めようとする。</p>	<p>「余暇」が時間の「消費」ではなく「創造」であるということを理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>論理展開に着目し、筆者の主張を読み取る。</p>	<p>余暇を巡る相反する考えから、筆者の主張を理解しようとしている。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。</p>	<p>読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。</p>	<p>行動の観察</p>

<p>・「もの」の科学から「こと」の科学へという思考の転換の必要性を、筆者の主張を通じて理解する。</p> <p>(指導事項Cエ・イ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	3	11	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕</p>	<p>「『もの』の科学から『こと』の科学へ」 池田清彦</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解しようとする。</p>	<p>筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。</p>	<p>引用された事例から、筆者の考えを理解している。</p>	<p>記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。</p>	<p>読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・「情報の商品化」という資本主義の中心原理を理解し、現代という時代について自分なりに説明することができる。</p> <p>(指導事項Cエ・イ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	3	11	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕</p>	<p>「マルジャーナの知恵」 岩井克人</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>筆者が述べる、資本主義の本質を理解しようとする。</p>	<p>筆者が述べる、資本主義の本質について理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。</p>	<p>「アリババと四十人の盗賊」が引用される寓意に着目して、筆者が述べようとする資本主義の本質を理解している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・発表のための手順とポイントを理解し、まとめたフリップに沿って自分の考えを述べる。</p> <p>(指導事項Aイ・エ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ))</p>	4	11	<p>調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。〔Aの(2)イ〕</p>	<p>プレゼンテーションをする－五枚のフリップを使って</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとする。</p>	<p>調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>話す・聞く能力</p>	<p>考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話す。</p>	<p>考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。</p>	<p>調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・調査や研究の成果を、レポートとしてまとめる。</p> <p>(指導事項Bイ・エ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ))</p>	6	11	<p>出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕</p>	<p>レポートを書く－見取り図をもとにして</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとする。</p>	<p>自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>書く能力</p>	<p>自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示す。</p>	<p>自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>書くことに必要な文章の組立てについて理解する。</p>	<p>書くことに必要な文章の組立てについて理解している。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「労働」を巡る筆者の考えを踏まえ、自分の意見を述べる。</p> <p>(指導事項Bイ・エ/言語活動イ)</p>	3	12	<p>出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕</p>	<p>「なぜ私たちは労働するのか」 内田樹</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>筆者が述べる労働の本質について理解を示し、それを自分の言葉でまとめようとする。</p>	<p>筆者が述べる労働の本質について理解を示そうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>書く能力</p>	<p>筆者の論理展開を踏まつつ、「労働」に関する自分の考えを述べる。</p>	<p>自分の考えを論理的に展開することができる。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・筆者が述べる「多言語社会の可能性」について理解し、それに対する自分の考えを述べる。</p> <p>(指導事項Bイ・エ/言語活動イ)</p>	3	12	<p>出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕</p>	<p>「夢は何語で見る？」 多和田葉子</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>筆者が述べる多言語社会の可能性について理解を示し、それを自分の言葉でまとめようとする。</p>	<p>筆者が述べる多言語社会の可能性について理解を示そうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>筆者の論理展開を踏まえ、それに対する自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>筆者の論理展開を踏まつつ、自分の考えを過不足なく述べている。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>

・意見文を書く基本を学習する。 ・話し合いや相互批評を通して、自らの問題意識のありようを自覚する。  (指導事項Bイ・エ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(4))	6	12	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。 [Bの(2)イ]	意見文を書く－新聞投書	関心・意欲・態度	身の回りや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につけようとする。	身の回りや社会に目を向け、そこから問題を発見しようとしている。	行動の観察及び発言の確認
				書く能力	文章の組み立てや題名の付け方に留意して、わかりやすい文章を書く力を身につける。	書かれた投書が、教科書の「投書を書くためのポイント」をおおむね満たしている。	記述の確認	
				知識・理解	不特定多数の人に読まれることを意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験を交えながら文章にまとめる。	自分の意見とその意見を裏づける事実や体験が述べられている。	記述の確認	

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した手紙文・レポート
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

学期	学習のねらい 〔「学習指導要領」の指導事項〕	配当時間	月	言語活動	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考査範囲
第3学期	・回想形式の物語の中で、語り手である「私」が、過去をどのように形象化し、前に進もうとしていくのか、語りの内容から読み解いていく。  (指導事項Cウ・オ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(4)・ウ(7))	4	1	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 [Cの(2)エ]	「富嶽百景」 太宰治	関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、「私」の抱いた気持ちについて考えようとする。	「私」の置かれている状況、「私」の考え方、心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持とうとしている。	行動の観察	学年末考査
						読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	文体や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認	
						知識・理解	作品の背景を把握するための知識を身につける。	作品の背景を把握するための知識を身につけている。	行動の観察	
	・夢のこととして書かれた小説の、現実の世界とは異なるリアリティーの世界を読み取る。  (指導事項Cウ・オ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(4)・ウ(7))	2	2	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 [Cの(2)エ]	「夢十夜」 夏目漱石	関心・意欲・態度	「夢」として構成された一見荒唐無稽なイメージの連なりの中に、人間の存在の奥深さを読み取り、ひとのこころというものの不可思議について考えようとする。	比喩や象徴的表現に興味をもって読解しようとし、「夢」というもののふしぎな世界に興味をもち、この作品を通じて考えを深めようと努めている。	行動の観察	
						読む能力	「夢」の飛躍するイメージによってしか表現できない不可思議な心のあり方を、叙述を正確に追いつながらつかんでいくとともに、「夢」として構成された作品の意味についても考える。	描かれている場面を的確に映像化し、具体的なイメージとして捉えられると同時に、「夢」の象徴的な表現から、その底に隠されている人間の根源的な願望についても考えをめぐらしている。	記述の確認	
						知識・理解	基礎的な語彙と文章に即した慣用句、詩的な表現技巧などに慣れ、文章表現に生かせる。	一語一語が丁寧に組み立てられた作品であることを理解し、その中に使われている個々の語のイメージを正確に読み取ることができるとともに、ことばに対する感覚を豊かなものにしていく。	行動の観察	
	・「人為」としての情報が高次の抽象化へと昇華していく論旨を理解し、「思考の純化」について理解する。  (指導事項Cエ・オ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(4)・ウ(7))	3	2	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 [Cの(2)エ]	「情報の『メタ化』」 外山滋比古	関心・意欲・態度	筆者が述べる「情報のメタ化」を理解しようとする。	筆者が述べる「情報のメタ化」について理解しようとしている。	行動の観察	
						読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	一次、二次、三次の情報の段階的抽象化について理解している。	記述の分析	
						知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検	

<p>・我々に物事が顕現する二種類の現れ方、知覚的な現れ方と考えるという現れ方の違いについて論を追いながらまとめ、理解を深める。</p> <p>(指導事項Cエ・オ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	3	2	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「見る－考える」 大森荘蔵</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>筆者が述べる「知覚すること」と「考える」ことの相違を理解しようとする。</p>	<p>筆者が述べる「知覚すること」と「考える」ことの相違を理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p> <p>引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。</p>	<p>筆者の観点を踏まえ、筆者が述べようとする主張の本質を理解している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p> <p>読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・「美」には人を沈黙させる力があるという筆者の主張を踏まえ、「感ずる」ことの難しさについて理解する。</p> <p>(指導事項Cエ・オ/言語活動エ)(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)・ウ(7))</p>	3	3	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>「美を求める心」 小林秀雄</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>筆者が述べる「美を求める心」の本質を理解しようとする。</p>	<p>筆者が述べる「美を求める心」の本質を理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p> <p>引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。</p>	<p>筆者の論理展開に着目して、筆者が述べようとする内容を理解している。</p>	<p>記述の分析</p>
					<p>知識・理解</p> <p>読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。</p>	<p>読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・反対側の立場を尊重しながら、ジャッジを納得させるための討論を行う。</p> <p>(指導事項Aウ・エ/言語活動ウ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ))</p>	4	3	<p>反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。</p> <p>[Aの(2)ウ]</p>	<p>ディベートをする－マイクロディベート</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとする。</p>	<p>課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>話す・聞く能力</p> <p>相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合う。</p>	<p>相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>知識・理解</p> <p>調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断する。</p>	<p>調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。</p>	<p>行動の観察</p>
<p>・広告の構成について理解し、その役割表現の特色について理解することができる。</p> <p>(指導事項Cオ/言語活動ウ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ))</p>	1	3	<p>現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。</p> <p>[Cの(2)ウ]</p>	<p>広告を読む－実用的な文章</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとする。</p>	<p>実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p> <p>広告のねらいや表現の仕方について理解する。</p>	<p>広告のねらいや表現の仕方について理解している。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>知識・理解</p> <p>広告表現の特色について理解する。</p>	<p>広告表現の特色について理解している。</p>	<p>行動の観察</p>

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した創作文
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評価方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

<p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p>	<p>・「国語総合」は、小学校・中学校の国語の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、互いに伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、古典をはじめとする様々な言語文化に目を向け、それらを楽しんで、国語を愛し育てる態度を培ってください。</p> <p>・目的や課題に応じて、様々な情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。</p> <p>・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。</p>
<p>授業を受けるにあたって守ってほしい事項</p>	<p>・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。</p> <p>・課題・提出物等は期限内に必ず提出してください。</p> <p>・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。</p>

(2) 担当者からのメッセージ

「国語総合」では、言葉をとおして現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。